

# 本年を総括いたします

長崎県議会議員

## 下条 博文

(45)

本年はコロナを所管する文教厚生委員会に所属。6月議会では本議場で一般質問を。9月議会では自民党会派を代表して総括質疑を行いました。来年2月議会でも今期2回目の一般質問を予定しております。

### 令

和2年も、間もなく終わりを迎える新しい年を迎えますが皆様いかがお過ごしでしょうか。今年はコロナに始まり、コロナ対応で終わる。大変な一年でした。私は、県議会議員2年目として、文教厚生委員会に所属。まさに新型コロナ対策に終始した委員会となりました。本年6月には一般質問でN-CHAT（健康管理アプリ）を取り上げ長崎大学熱帯医学研究所（山藤先生）（富士通とともに県内導入に向け働きかけを行いました。結果、県内で医療・高齢者施設を中心に学校・企業等導入が開始され日本で初のデータサイエンスを用いた感染症対策に取り組む県として大変評価を受けております。引き続き、長崎が誇る感染症のエキスパートである熱研と連携し、PCR検査体制の拡充、医療体制の確保等、県民皆様の安心安全を守るため尽力いたします。また、国では新型コロナ対策で露呈したデジタル化推移への弱点を補正すべくデジタル庁設置（来年7月設置目標）への動きが活発化。事業者経営のスキルを活かし、長崎県デジタル化推進を図って参ります。



新型コロナ対策について、検査体制の拡充、医療体制の確保、県民に対するメッセージなど、中村知事に訴える。



長崎大学熱帯医学研究所にて、西村康徳コロナ担当大臣と意見交換。長崎の感染症対策に評価いただく。



長崎大学熱帯医学研究所・森田所長と意見交換。熱研、県議会連携して感染対策に臨む。



6月議会一般質問にてN-CHAT（健康管理アプリ）導入について質問。データサイエンスを用いた感染対策に国からも評価を受ける。

本年はコロナ禍に加え、7月豪雨災害・台風9号10号被害に見舞われました。一刻も早い復旧と感染対策を講じた避難所の整備に努めて参ります。コロナ禍において、観光・飲食・サービス・交通・一次産業など大きな被害を受けました。事業継続にかかわる支援など続けていきます。人口減少対策・新幹線フル規格整備・誘致・県庁跡地活用など、本県には課題が山積しておりますが、県民の皆様のお声をよく聞き、市・県・国・自民党一丸となり正面から向き合い課題解決に取り組んで参ります。

### 富岡勉代議士と勉強会

医療系議員団の本部長である富岡代議士と新型コロナ対策について国の動向等、勉強会を重ねる。市・県・国・与党一体となって未曾有の危機に対応していきます。

